

熊本県立劇場 指定管理者 令和5年度（2023年度）管理運営評価票

所管部局：観光文化部観光文化政策課

I 施設の管理概要

指定管理者名	公益財団法人熊本県立劇場
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設概要	1 目的:県民の文化の振興 2 施設概要 ・コンサートホール 収容定員 1,810 人 ・演劇ホール 収容定員 1,172 人 ・大会議室 収容人員 162 人（机・椅子使用時）、380 人（椅子のみ使用時） ・その他 和室、リハーサル室、第1～3練習室 駐車場(普通車496台、バス5台)、駐輪場(約150台)
指定管理料	407,976,000円（令和5年度分）

II 管理運営の評価

1 管理運営業務の水準

管理業務の水準の指標	目標値	実績値	差	備考
県劇入場者数	252,000 人	332,575 人	+80,575 人	対前年度 -49,556 人
文化事業入場者・参加者数	23,670 人	25,277 人	+1,607 人	対前年度 -10,466 人
コンサートホール利用率	73.0%	81.3 %	+8.3 ポイント	対前年度 +5 ポイント
演劇ホール利用率	81.0%	87.1%	+6.1 ポイント	対前年度 +10.5 ポイント

2 管理運営業務実施状況

(1) 施設維持管理業務実績

作業項目			実施頻度	備 考
業務名	業務内容			
清掃業務	日常清掃	事務室等6項目	使用のつど ～ 1回／1～2日	仕様書に沿って適正に実施 工事期間等は除く。以下同じ
	定期清掃	事務室等4項目	2回／月 ～ 4回／年	仕様書に沿って適正に実施
高所清掃業務	ガラス清掃		4回／年	仕様書に沿って適正に実施
水質管理	水質検査(市水)	残留塩素測定等3項目	1回／週～年	水道法水質基準に適合
	水質検査(井水)		1回／年	水道法水質基準に適合
	受水槽等清掃		1回／年	仕様書に沿って適正に実施
環境測定	空気環境測定	40カ所	6回／年	測定結果問題なし
	アスベスト濃度測定	3カ所	1回／年	測定結果問題なし
衛生管理	特定建築物維持管理実績報告		1回／月	仕様書に沿って適正に実施
	害虫駆除		2回／年	仕様書に沿って適正に実施
	汚水ピット清掃		2回／年	仕様書に沿って適正に実施
警備業務	常駐警備業務		全日	仕様書に沿って適正に実施
	駐車場整理用務		必要時	仕様書に沿って適正に実施
設備維持管理	総括管理、運転監視、日常巡視点検	設備40項目	1回／週～8回／年	点検結果問題なし
	高圧受電設備保安点検		1回／年	仕様書に沿って適正に実施
	非常用発電機	法定点検等2項目	1～2回／年	点検結果問題なし
	電気設備点検	法定点検等4項目	1～2回／年	点検結果問題なし
	空調設備保守点検	ヒートポンプチャラー等16項目	1回／月～4回／年	仕様書に沿って適正に実施
	中央監視装置・自動制御機器保守点検		中央監視装置総合1回／年 空調機器1回／年 他	点検結果問題なし
	昇降設備保守	エレベーター4基	4回／年	点検結果問題なし
	消防用設備保守点検	自動火災報知機、消火器、誘導灯他	総合点検1回／年 外観点検2回／年 他	仕様書に沿って適正に実施
	防火設備定期検査		1回／年	仕様書に沿って適正に実施
	建築設備定期検査		1回／年	検査結果問題なし
	特定建築物等定期検査		1回／3年	仕様書に沿って適正に実施
	特定防火対象物報告		1回／年	仕様書に沿って適正に実施
	自動ドア保守点検		4回／年	点検結果問題なし
	煤煙測定業務		2回／年	仕様書に沿って適正に実施
	給湯ボイラー保守点検		1回／年	令和5年度点検不要
	緊急ガス遮断装置保守点検		2～3回／年	点検結果問題なし
	その他の設備維持管理	有料駐車機保守点検		4回／年
施設予約管理システムソフト保守			問題発生時	仕様書に沿って適正に実施
舞台吊物保守点検			3回／年	仕様書に沿って適正に実施
舞台迫り保守点検			3回／年	仕様書に沿って適正に実施
舞台照明システム保守点検			2回／年＋問題発生時	仕様書に沿って適正に実施
舞台音響システム保守点検			2回／年＋問題発生時	仕様書に沿って適正に実施
楽器類保守点検	ピアノ	4種類	1回／年 ＋(調律3回／年)	仕様書に沿って適正に実施
	チェンバロ		1回／年	点検結果問題なし
一般廃棄物	廃棄物処理業務		日曜、祝祭日を除く毎日	仕様書に沿って適正に実施
植栽等管理	樹木管理業務	駐在作業等9項目	随時～3回／年	仕様書に沿って適正に実施
その他	トイレ洗浄器		1回／2ヶ月	仕様書に沿って適正に実施
	玄関マット等交換		1回／2週	仕様書に沿って適正に実施
	貸植木メンテナンス		1回／月	仕様書に沿って適正に実施

【点検・調査結果及び評価】

・維持管理業務は適正に実施されており、安全・清潔・快適な劇場の施設・設備の提供が行われた。

(2) 文化事業の実績

I 創造拠点事業

1) 実演芸術に係る人材の育成や確保を行う事業

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
第 65 回熊本県芸術文化祭オープニングステージ				
6～9 月 大会議室ほか	JAZZ ドリームバンド 合同練習	公募した中高生 86 人で結成する「JAZZ ドリームバンド」の合同練習。県吹奏楽連盟の指導の下事前練習を行ったほか、特別ゲストのエリック・ミヤシロ (Tp) らによる奏法クリニックや合奏指導を受けた。 取材：熊日	—	376
9/10(日) コンサート ホール	JAZZ ドリームバンド 本番	エリック・ミヤシロほか特別ゲストと中高生の共演。8 日、9 日はゲストの熱意ある指導が展開され、当日の中高生の演奏にも熱が入った。ゲスト 6 名のスペシャルライブにも会場は大いに沸き、ゲストと中高生の共演にも惜しみない拍手が送られた。「感動した」との声が多く寄せられた。 取材：熊日、RKK	[自由] 2,000	1,400
ホワイエサロンコンサート				
5/13(土) コンサート ホール ホワイエ	Vol.5 清原晏 箏リサイタル	熊本県出身の箏曲家、清原晏による箏リサイタルを開催。東京藝大の同期である細川喬弘、熊本在住のピアニスト山上聖宗とともに、古典から現代まで幅広いプログラムを演奏した。チケットは前日に完売。 取材：熊日	[自由] 3,000	203
6/17(土) コンサート ホール ホワイエ	Vol.6 藤原道山×SINSKE	尺八演奏家・藤原道山、マリンバ奏者・SINSKE によるコンサート。「諸国漫遊記」と題し、富田勲作曲「新日本紀行」や日本に影響を受けたと言われるラヴェルやドビュッシーなどの海外の楽曲、民謡のメドレーなどを披露。チケット完売。 取材：熊日	[自由] 3,000	194
8/19(土) コンサート ホール ホワイエ	番外編 「あかちゃんとダンス！」	初めて会場をコンサートホールに移し実施した「あかちゃんとダンス！」。講師陣に古家優里と長谷川風立子を迎え、リラックスした雰囲気の中で午前と午後 2 回のワークショップを行った。	[参加費] 500	48
9/1(金) コンサート ホール ホワイエ	Vol.7 現代音楽への誘い	熊本大学と県立劇場の連携協定を活かした共同企画を授業の 1 コマとして実施。一般のお客様 113 名のほか、熊本大学の学生が 76 名来場。初めて生の演奏を聴いたという学生も多く、「レクチャーコンサートだったので楽しみ方を知れて良かった」との声が聞かれた。 取材：熊日	[自由] 3,000	189

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
人材育成プログラム				
4/19(水) 大会議室	概論	熊本県公立文化施設協議会の総会に合わせ、文化政策の第一人者である片山泰輔静岡文化芸術大学教授を招いて研修を実施。文化芸術基本法や劇場法を踏まえ、劇場や公共ホールの役割を再確認する内容で、終了後も参加者から質問が相次ぐなど熱心に学ぶ様子が見られた。	無料	34
5/16(火) 大会 議室	舞台技術(1) 保守点 検・改修計画	「保守点検・改修工事」をテーマに実施。埼玉会館の山海隆弘氏を講師に招き、各市町村ホールの担当者らが受講した。劇場の危険性や催事の一回性、予防保全の大切さ、保守業者との良好な関係作りのためのコミュニケーション方法などを学んだ。	無料	35
6/7(水) 大会議室ほか	ホール入門(1) 危機管理	中央消防署職員立ち合いの下、本格的な消防訓練を実施。事務局、舞台スタッフ、主催者、観客に分かれ公演中の火事を想定。訓練後には消防署から講評と、劇場の消防活動についての講話を聞いた。	無料	40
7/5(水) 演劇ホールほ か	舞台技術(2) 舞台機構	北九州芸術劇場の中村国寿氏、岩下竜馬氏を講師に招き、各市町村ホールの担当者らが受講。座学やパネルの吊り込みの実践等を通して、機構の安全な使用法を学んだ。	無料	31
7/12(水) 大会議室ほか	アートマネジメント (1) 社会包摂 現場体験ワ ークショップ	九州障害者アートサポートセンターのセンター長の樋口龍二氏を招き、ワークショップを実施。実際に障がいのある方・介助者の方と一緒に施設を巡回することで、障がい者の日常にある課題に気づき、公共におけるバリアを体感した。	無料	25
9/20(水) 大会議室	ホール入門(2) 接遇 「多様化するお客さ まのニーズに応える 接遇研修」	(株)インソース九州支社の岩波美香氏を講師に招き実施。CSを実現するためのホスピタリティの講義後、グループワークで熊公文協加盟館のスタッフと失敗体験談を共有し場面に応じた対応方法を学んだ。	無料	16
10/30(月) 演劇ホール	舞台技術(3) 音響	びわ湖ホールの押谷征仁舞台技術部長を講師に迎え、音響機材や各スピーカーの説明、各マイクの特性などを学び、PA 操作の実践研修を行った。	無料	22
12/7(木) 市民会館シア ーズホーム夢 ホール	アートマネジメント (2) 広報	愛知県芸術劇場広報・マーケティング部長/名古屋芸術大学客員教授の林健次郎氏を招き実施。午前は企画・制作の流れについて、午後は広報・宣伝のノウハウについて学んだ。	無料	17
R6. 2/17(土) 中会議室	アートマネジメント (3) 著作権	骨董通り法律事務所(東京都)から岡本健太郎弁護士を招き、舞台制作にかかる著作権講座を実施。著作権、商標権、肖像権/パブリシティ権などの特徴や権利の概要の解説のほか、契約にかかる権利処理や留意事項について学んだ。	無料	20

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
舞台技術の基礎講座				
R6. 1/20(土), 21(日) 男女共同参画センター はあもにい	舞台技術の基礎講座	劇場舞台スタッフ6名と、はあもにいスタッフ4名が講師を務め、舞台、音響、照明の各セッションで基礎を学んだ。2日目はロックバンドの模擬ライブの仕込みからバラシまでを通して研修した。 取材：熊日	[受講料] 2,000	24
東京藝術大学音楽学部早期教育プロジェクト				
10/9(月祝)	東京藝術大学音楽学部早期教育プロジェクト	ヴァイオリンの松原勝也教授を講師に迎え、小4～中2の6名が受講。指導は厳しい口調に思われたが、内容は「皆上手に弾けるんだから音楽をもっと自由に楽しんで」というスタンスで、それが徐々に伝わり後半の演奏披露ではのびのびと演奏する様子が見られた。	無料	30
登録アーティスト募集・育成事業				
9/15(金) オンライン	登録アーティスト 一次審査	2024・2025 年度登録アーティストの一次審査。(一財)地域創造・児玉真、comodo arts project 代表・坂口美由紀、県立劇場事業グループが申込書と音源による審査をした。6名のうち5名を合格とした。	—	8
11/9(木) 第1練習室	登録アーティスト 二次審査	2024・2025 年度登録アーティストの二次審査。一次審査を通過した5名が、アウトリーチの実演を想定した15分程度のトーク・演奏を行った。審査の結果、3名が合格。	—	5
R6. 1/29(月)～31(水) 男女共同参画センター はあもにい	登録アーティスト 研修会	オーディションで採用した登録アーティストの研修会。アウトリーチについて事業の意義等を座学で学んだ後、3人の登録アーティストにそれぞれ担当コーディネーターがつき、アウトリーチのプログラムを作成した。	—	9
R6. 2/20(火)～22(木) 男女共同参画センターはあもにい、碩台小学校ほか		アウトリーチプログラムを作り、1日目にランスルーを、2日目には熊本市立碩台小学校の児童に向けてアウトリーチを行った。3日目は手直し、全体反省会を行い、研修会が終了した。来年度より登録アーティストとして県内各地でのアウトリーチに派遣する。	—	9
ジュニアオーケストラ事業				
4～5月	練習	小中高生を対象に管弦楽の演奏機会を提供する事業。熊本ユースシンフォニーオーケストラと共同で取り組む。5/6の「どさんこ青少年オーケストラ」とのジョイントコンサートや、8月の定期演奏会に向けた楽曲の練習に取り組んだ。	無料	502
9/16(土)～18(月祝) コンサートホールほか	北部九州ジュニアオーケストラミュージックキャンプ	北部九州4県(福岡、長崎、大分、熊本)のジュニア/ユースオーケストラが一堂に会し交流する企画で、それぞれの県の劇場との共同事業。熊本ユースシンフォニーオーケストラをホストオーケストラとして3団体を迎えた。団員は3日間、合奏やパート練習を通して交流し、エルガー/行進曲「威風堂々」第1番などを練習した。	無料	471

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
9/18(月祝) コンサート ホール	北部九州ジュニアオー ケストラミュージ ックキャンプ 成果発表会	ミュージックキャンプの成果発表として、30分 程度の演奏会を行った。3日間という短い期間で 3曲を仕上げた団員に、観覧した関係者が大きな 拍手を送った。 取材：読売新聞	無料	100
バックステージツアー事業				
7/1(土) 演劇ホール	放課後等デイサービ スあゆみ 1～6年生	演劇ホールならではの舞台機構や仕掛け、照 明、音響を学ぶバックステージツアー。音響や照 明の機材を実際に操作した。	無料	12
7/6(木) コンサートホ ール	熊本市立託麻原小学 校	2年生の生活科「公共施設を利用する際のマナ ーやルールを学ぶ」授業の一環として昨年につき 3回目の実施。施設全体やコンサートホールの特 性を知るための映像を見た後、劇場のマナーチラ シを活用した鑑賞マナー講座を実施。	無料	106
8/23(水) 演劇ホール	行くぜ！劇場探検隊 2023	劇場や舞台芸術に興味をもってもらおうと、演 劇仕立てのバックステージツアーを開催。子ども たちは、劇団きららの団員らが扮する探検隊チー ムの一員として舞台裏を探検し、音響体験・照明 体験・迫に乗る体験をした。インターンシップ生 と引率者の計5名が公演を視察。 取材：熊日、TKU	[参加費] 大人1,000 こども500	63
8/24(木) 演劇ホール	アフタースクールチ ョイス龍田校	民間の学童 After school choice 龍田校の子ど もたちが、サマースクールの校外活動で参加。舞 台機構、照明、音響操作を体験した。	無料	22
9/6(水) 劇場内パブリ ックスペース	熊本市立大江小学校 4年生	近隣の公共施設である劇場内のバリアフリーや ユニバーサルデザインを目的としたものに児童自 らが気づき、どのような工夫があるのか、実際に 見て、触れて学習した。	無料	136
9/15(金) コンサートホ ールほか	熊本デザイン専門学 校建築・インテリア デザイン科1年生	建築を学ぶ学生が参加。劇場建築の工夫、モダ ニズム建築家 前川國男の世界観を紹介。学生ら はコンクリート壁（矢羽根模様）やタイル床（吉 原つなぎ柄の模様）などを確認し、コンサートホ ールの機構や音の響きを体感した。	無料	37
9/19(火) 演劇ホール	熊本市教育支援セン ター「フレンドリー あいばる大江教室」・ オンライン学習支援 「フレンドリーオン ライン」	不登校の子どもたちの社会的な自立支援を目的 としている「フレンドリーあいばる大江教室」か ら4年目の参加。昨年からオンライン学習支援 「フレンドリーオンライン」も加わり、ツアーの 様子を自宅にいる子どもたちにも配信。参加者は 演劇ホールの舞台機構や音響、照明についてスタ ッフから説明を受け、実際に機材に触れるなどし た。	無料	22
10/6(金) 演劇ホール 中央監視室ほ か	熊本大学大学院先端 科学研究部（工学部 土木建築学科建築音 響研究室）	建築環境工学の中でも建築音響について学ぶ学 生が、劇場建築の様々な工夫を劇場職員や教授の 説明を聞きながら見学した。	無料	8

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
R6. 3/18(月) コンサートホ ール	障害者支援施設等 (愛隣館ほか 3 施 設)	劇場に来館する機会が少ない方々にも劇場を体 験していただきたいとの思いから企画。障害者支 援施設等(愛隣館・しょうぶの里・平成学園・え みたす)から参加。コンサートホールのバックヤ ードを見学後、客席でチェロとピアノの演奏を鑑 賞した。	無料	19
創造拠点事業 1) 計				4,233

2) 地域の公立文化ホールや文化団体を支援する事業

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
アートキャラバンくまもと				
8/15(火) 演劇ホールホ ワイエほか	県劇盆踊り	地域に開かれた共生の劇場として、劇場全職員 で取り組む事業。5年ぶりの開催。メインステー ジでは、津軽三味線全国大会チャンピオンを中心 に結成された「あべや」の演奏と、県内で活動す る「中山芳保会」、「牛深ハイヤ保存会」の踊りを 披露。サブステージでは、公募出演者による落 語、書道パフォーマンス、コント、朗読を披露し た。 取材：熊日、TKU	無料	2,100
Noism×鼓童「鬼」				
R6. 1/21(日) 宇土市民会館	関連企画 鼓童ワークショップ	チケット購入者を対象としたワークショップを 実施。「鬼」に出演する鼓童の7名を講師に招 き、担ぎ桶・締太鼓(座奏)・篠笛・鳴り物(チャ ップ等)・伏せ打ちの5つの講座を実施。	無料	19
R6. 1/25(木) 市民会館シア ーズホーム夢 ホール	Noism×鼓童「鬼」	新潟市芸術文化振興財団(りゅーとびあ)専属 舞踊団 Noism Company Niigata と太鼓芸能集団 鼓童が創る、コンテンポラリーダンスと和太鼓の 生演奏による現代作品『鬼』を上演。 取材：熊日	[指定] S 席 6,000 A 席 4,000	403
ネットワーク事業				
6/18(日) 荒尾総合文化 センター	野村万禄はじめての 狂言	定番の「盆山」と「附子」が演じられ、コミカ ルな内容に会場中が笑いに包まれた。子ども達も 多く来場し、活気ある公演となった。 取材：有明新報	[自由] 1,000	290
7/2(日) 菊池市文化会 館	春風亭昇太独演会	前座・春風亭昇ちくが「転失気」を、春風亭昇 太が「ちりとてちん」「壺算」の二席を披露。色 物として、三増紋之助が曲独楽で会場を盛り上げ た。チケット完売。	[指定] 2,500	808
7/8(土) 益城町文化会 館	清和文楽「肥後アマ ビエ戀歌異聞」	「寿式三番叟」で賑々しく幕が上がり、県立劇 場がプロデュースした「肥後アマビエ戀歌異聞」 では、華やかな人形による切ない恋物語が繰り広 げられた。	[自由] 1,000	195

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
8/20(日) ながす未来館	古家優里ダンスワー クショップ	プロジェクト大山の古家優里らによるワーク ショップ。午前があかちゃんとその保護者 2 組 7 名。午後は 3 歳～小学生とその保護者 8 組 20 名 を対象に実施した。	[参加 費] 500	27
8/27(日) 宇土市民会館	古家優里ダンスワー クショップ	午前があかちゃんと保護者を対象とする「赤ち ゃんと踊ろう!」に 3 組 6 名が、午後は小学 1～6 年生を対象とする「ダンスを創ろう!」に 14 組 16 名が参加。 取材：熊日	[参加 費] 1,000	22
9/2(土) ウイングまつ ばせ	絵本 de クラシック	0 歳から参加できる「ブレーメンの音楽隊」を 朗読と生演奏で楽しむ演奏会。岡村明美氏のナレ ーション・演技に観客も圧倒され、親子で演奏と 共に演出を楽しんだ。	[指定] 500	429
9/24(日) 八代市役所多 目的ホール	三遊亭好一郎落語ワ ークショップ	益城町出身の落語家・三遊亭好一郎。落語の歴 史や所作を学び、扇子や手ぬぐいを使った体験を 行った後、好一郎が落語「つる」を披露した。	無料	14
9/30(土) 御船町カルチ ャーセンター	絵本 de クラシック	0 歳から参加できる室内楽コンサート。金管ア ンサンブルの音色と岡村明美氏の「ピノキオ」の 朗読に観客が惹きこまれた。御船町「子育て遊園 地」や「ブルック音楽祭」との同時開催。	[指定] 1,500	250
9/30(土) 天草市民セン ター	カホンワークショッ プ	パーカッショニストのはたけやま裕によるワー クショップ。初心者・経験者コースのレベル別で 指導を行い、カホンの奏法や手や腕の動かし方・ 力の入れ方、8 ビートによるリズムパターンの特 クチャーを行った。	[参加 費] 1,000	11
10/1(日) 天草市民セン ター	はたけやま裕「音語 りの色」	はたけやま裕とアニメーターの蒲原元による音 楽アニメーションコンサート。落語家の柳家喬太 郎をゲストに迎え、文学作品の朗読や芥川龍之介 の「蜘蛛の糸」を題材とした新作落語を披露。	[自由] 2,000 円	75
10/8(日) 桜十字ホール	三遊亭好楽落語会	三遊亭好好が「真田小僧」を、三遊亭好一郎が 「味噌豆」「親子酒」を、三遊亭好楽が「鶴」を 披露。	[指定] 2,000 円	155
舞台芸術コーディネート事業				
10/19(日) コンサートホ ール	附中文化の日	熊本大学教育学部附属中学校芸術鑑賞会のコー ディネートを行った。県出身のヴァイオリニスト 緒方愛子率いる弦楽四重奏の生演奏のほか、楽器 の体験コーナーを設け、生徒たちはより楽器への 興味を深めている様子だった。	—	472
11/12(日) 芦北町地域活 性化センター	芦北町演奏会	芦北町の依頼によりアウトリーチの協力アーテ ィストによる演奏会を実施。昨年に続き 2 回目。 今回は小路永和奈（箏）を中心に、吉永洋子（フ ルート）、山城英樹（ピアノ）のトリオによる演 奏を披露。	無料	126
共催事業				
6/15(木) コンサートホ ール	平成音楽大学プラス オーケストラ	同大学の管弦打楽コースの学生を中心とした吹 奏楽の演奏会。県内の中高生や陸上自衛隊西部方 面音楽隊も出演した。	[自由] 1,000	1,500

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
8/13(日) コンサートホ ール	熊本ユースシンフォ ニーオーケストラ 第 54 回定期演奏会	小学生から 20 歳代の青少年で構成。R. ワーグ ナー/楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガ ー」より前奏曲、B. スメタナ/連作交響詩「わが 祖国」より第 2 曲「ヴルタヴァ」、第 4 曲「ボヘ ミアの森と草原から」、J. ブラームス/交響曲第 2 番を演奏、豊かな表現力をみせた。	[一部指 定] 指定 2,000 自由 1,500	617
11/4(土) コンサートホ ール	第 61 回熊本県新人演 奏会	熊本県文化協会主催。出演者はピアノ (6 名)、 サクソフォン (3 名)、ファゴット (1 名)、ホル ン (1 名)、ソプラノ (3 名) の計 14 名。それぞ れが演奏を披露し、観客はその音色に深く聴き入 っていた。 取材：熊日	[自由] 1,000	640
文化活動支援事業				
4/2(日) オンライン	担当者説明会	令和 5 年度文化活動支援事業に参加する団体に 向け、事業概要・スケジュール・提出書類等の説 明会を実施。熊本子どもミュージカル父母会など 3 団体が参加。	—	3
通年	文化活動支援事業	県内で活動する文化団体に、県立劇場での会場 費相当を上限に助成する事業。熊本子どもミュ ージカルなど 4 団体の公演を支援した。	主催者によ り異なる	2,725
R6. 3/18(月) 特別会議室	令和 6 年度採択団体 担当者説明会	採択された 6 団体対象の説明会。概要と提出書 類などの説明を行った。	—	7
オハイエくまもと協力事業				
5/21(日) 熊本市現代美 術館	第 14 回オハイエくま もと とっておきの音楽祭	同音楽祭への協力として、熊本市現代美術館ホ ームギャラリーでの舞台進行全般に関わった。音 響機材や譜面台など、コンサートに必要な機材や 備品の貸与、進行表作成ならびに進行管理などの 協力を行った。当日は 14 組 59 名が出演。	無料	180
R6. 1/28(日) 男女共同参画 センターはあ もにい	野村誠ワークショッ プ	令和 6 年 11 月に開催を予定している「オハイ エくまもと 15 周年記念コンサート」に向け、オ ハイエ音楽隊とその指導者を対象に、熊本在住の 作曲家野村誠によるワークショップを実施。野村 のピアノ演奏による自己紹介で始まり、即興の ピアノ連弾や打楽器セッションなど、多様なワー クをおこなった。	—	62
R6. 2/25(日) 中央公民館		前回、オハイエ音楽隊と一緒に作った歌のフレ ーズ追加や、即興による合奏などを行った。ワー クショップ後、指導者を対象に楽器演奏やピアノ のリレー連弾を行い、今後の指導についてノウハ ウを伝えた。	—	37
R6. 3/24(日) 中央公民館		ウォーミングアップとしてトーンチャイムを使 ったワークから開始し、その後は前回のワークシ ョップで生まれた「なんでもすき」という曲に合 わせ、打楽器やキーボード、ラップなどで即興的 に音楽を作っていた。	—	48
創造拠点事業 2) 計				11,215

3) 伝統芸能の継承と発展を支援する事業

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
清和文楽プロデュース事業				
R6. 3/30(土), 3 1(日) 清和文楽館	『ONE PIECE』×人形 浄瑠璃 清和文楽「超 馴鹿船出冬桜」	令和4年度芸文祭スペシャルステージで上演した 特別公演「超馴鹿船出冬桜」の清和文楽館定期公 演版の初演。県立劇場は制作協力として参画し た。両日ともにチケット完売。	[指定] 高校生以上 3,500 小中学生 2,500	381
第66回熊本県芸術文化祭オープニングステージ				
R6. 1/13(土) 宇土市民会館	出演者オーディショ ン	令和6年9月の芸文祭オープニングステージに 出演する太鼓演奏家のオーディション。演出の前 田順康(太鼓芸能集団 鼓童)、制作協力の川村真 悟(株式会社北前船)の2名による審査がおこな われ、16名が合格。	—	23
創造拠点事業 3) 計				404

II 普及拠点事業

1) 実演芸術を鑑賞する機会を県民に提供する事業

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
山田和樹指揮バーミンガム市交響楽団				
6/23(金) コンサートホ ール	山田和樹指揮 バーミンガム市交響 楽団	ブラームス/ヴァイオリン協奏曲(ソリスト:榎 本大進)、エルガー/交響曲第1番を演奏。山田和 樹は熊本にも縁深く、開演10分前には急遽プレ トークを行った。演奏は力強く華やかで、観客か らは万雷の拍手とスタンディングオベーションが 贈られた。 取材: 熊日	[指定] SS席 12,000 S席 10,000 A席 8,000 B席 6,000	1,210
声楽とオーケストラのタベ				
7/18(火) コンサートホ ール	声楽とオーケストラ のタベ〜森麻季と錦 織健を迎えて〜	大井剛史指揮九州交響楽団と森麻季(ソプラ ノ)、錦織健(テノール)によるコンサート。オ ペラアリアのほか、蘇州夜曲・Stand Alone〈NHK スペシャルドラマ「坂の上の雲」テーマ曲〉な ど、クラシック音楽に馴染みの少ない人も楽しめ る楽曲を演奏し、観客席も大いに盛り上がった。 取材: 熊日	[指定] S席 8,000 A席 7,000 B席 5,000	815
エブリ・ブリリアント・シング				
10/1(日) 演劇リハーサ ル室	ワークショップ	関連企画として、演出補の桐山知也による事前 のワークショップを実施。参加者は、互いを指名 し合うミニゲームをしたり、グループ毎にジェス チャーをつけてみたりと、様々な要素から本作の 持つ特徴を学んだ。	[参加費] 500	12

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
10/3(火) 演劇ホール舞 台上	エブリ・ブリリアン ト・シング	佐藤隆太による観客参加型の一人芝居。観客は、公演中に佐藤から渡されたフレーズカードを読んだり、人物を演じたりと、様々な形で作品に参加した。舞台上舞台で、客席数が制限されていたこともあり、チケットは完売。	[自由] 4,000	298
クラウド・マケラ指揮オスロ・フィルハーモニー管弦楽団				
10/26(木) コンサートホ ール	クラウド・マケラ指 揮オスロ・フィルハ ーモニー管弦楽団	新進気鋭の指揮者 クラウド・マケラと、その手兵と称されるオスロ・フィルハーモニー管弦楽団によるコンサート。ピアニストの辻井伸行をソリストに迎え、ショスタコービチやリヒャルト・シュトラウスの交響詩などを演奏し、会場は大きな拍手に包まれた。 取材：熊日	[指定] SS 28,000 S 24,000 A 21,000 B 18,000 C 15,000 D 10,000	1,395
共催事業				
7/17(月祝) 演劇ホール	夏季狂言の会	熊本「万作・萬斎の会」が夏季の恒例行事として開催する狂言公演。和泉流狂言師の野村万作、萬斎、裕基の親子三代が、狂言「蝸牛」「牛盗人」を披露。 取材：熊日	[指定] S 席 8,800 A 席 6,600 B 席 5,500 [自由] 3,000	828
9/3(日) コンサートホ ール	反田恭平&ジャパ ン・ナショナル・オー ケストラ コンサー ト	ショパンコンクール第2位のピアニスト反田恭平率いるジャパン・ナショナル・オーケストラ。日本屈指の若手音楽家らが、モーツァルト/ピアノ協奏曲第15番、交響曲第40番、チャイコフスキー/ロココの主題による変奏曲、の3作品を演奏。アンコールも人気のある作品が並び、満席の会場は大いに沸いた。	[指定] S 席 7,800 A 席 6,900	1,741
9/19(火) コンサートホ ール	大阪フィルハーモ ニー交響楽団熊本特別 演奏会	31年ぶりの来熊。指揮は尾高忠明。フィンランド、ヴァイオリン協奏曲、交響曲第2番の「オール・シベリウス・プログラム」と、ヴァイオリニスト中野りなの圧巻の演奏に聴衆も聴き入った。 取材：熊日	[指定] A 席 5,000 B 席 3,000	480
普及拠点事業 1) 計				6,779

2) 芸術文化に触れる機会を県民に提供する事業

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
演奏家派遣アウトリーチ事業				
5/15(月) オンライン	市町村担当者説明会	毎年対面での説明会を行っていたが、今年は初めてオンラインで実施した。また内容を初任者向けとして対象者を限定し業務について実例を交えながら説明した。あさぎり町、多良木町、水俣市、南小国町が参加。	—	4

10/10(火), 17(火) 住吉中学校、 宇土東小学校	宇土市アウトリーチ	小路永和奈(箏)が担当。住吉中1年生と、宇土東小5年生の計3コマ。初めて箏の生演奏を聴く子どもも多く、特に5年生は児童から積極的な発言も多くあり、能動的に鑑賞する様子が見られた。	—	86
10/16(月), 17(火), 20(金) 八竜小学校 千丁小学校 郡築小学校	八代市アウトリーチ	八竜小学校・千丁小学校で亀子政孝(コントラバス)の、郡築小学校で小路永和奈(箏)のアウトリーチを実施。コントラバスのアウトリーチでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために控えていた楽器に触れ振動を感じる体験を再開。コントラバスや箏を初めて聴く子どもたちも多く、演奏に聴き入っていた。	—	137
10/17(火)～ 19(木) 津奈木小学校	津奈木町アウトリーチ	1～6年生6コマを若木麻有(オーボエ)が担当。低学年でも楽しむことができるよう、リズムあそび等を交えたプログラムを作成。学年に応じプログラムを変えながら実施。	—	182
10/23(月)～ 25(水) 砥用小学校	美里町アウトリーチ	1・2・5・6年生の4コマを亀子政孝(コントラバス)、3・4年生の2コマを小路永和奈(箏)が担当。楽器を近くで見たり、触れたりする体験を交えることで、子どもたちの興味関心が高まるプログラムとなった。 取材：美里町役場広報課	—	97
11/7(火), 8(水), 28(火), 30(木) 湯浦小学校 田浦小学校 佐敷小学校 大野小学校 内野小学校	芦北町アウトリーチ	小路永和奈(箏)、緒方愛子(ヴァイオリン)、亀子政孝(コントラバス)によるアウトリーチ。児童は演奏を鑑賞するだけでなく、リズム叩きや楽器に触れるなど、思い思いに演奏に参加した。授業の中では活発な発言も多く、奏者との相互のやり取りを楽しむ様子が見られた。	—	170
11/20(月), 29(水) 中原小学校 りんどうヶ丘小学校	南小国町アウトリーチ	春日香南(クラリネット)によるアウトリーチ。クラリネットとリコーダーとの比較やリードの観察、クイズなどを盛り込みながら進行した。児童からも「手の動きが凄かった」「機会があれば演奏してみたい」といった感想があった。	—	83
R6. 1/22(月), 26(金) 市原小学校		若木麻有(オーボエ)によるアウトリーチ。イングリッシュホルンによる演奏も披露し、音色の違いを伝えた。その他、リードの説明には、実際に機械を使ってリードを作成。児童たちは奏者の近くに集まり、作成の様子に興味深く観察していた。	—	88
R6. 2/6(火), 8(木), 13(火) 南小国中学校		春日香南(クラリネット)によるアウトリーチを実施。音楽による感情の表現方法や楽器の奏法について紹介。アウトリーチ終了後は、吹奏楽部員が奏者に質問している様子も見られた。	—	81
11/27(月), 28(火), 29(水) 岡原小学校 上小学校 須恵小学校 深田小学校 免田小学校	あさぎり町アウトリーチ	春日香南(クラリネット)と亀子政孝(コントラバス)によるアウトリーチ。奏者の問いかけに児童が活発に答えるなか授業は進行した。終了後に奏者とハイタッチをする様子や直接感想を述べる様子も見られ、奏者との交流も楽しんだ。	—	185

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
11/28(火), 29(水), 30(木) 産山学園	産山村アウトリーチ	義務教育学校「産山学園」1～9年生全生徒を対象に、5コマに分けて開催。小路永和奈（箏）は2年前に同アウトリーチで来校しており覚えていた生徒も多数いたため、今回産山のための特別プログラムを演奏した。	—	94
12/11(月), 12(火) 黒肥地小学校 久米小学校 多良木小学校	多良木町アウトリーチ	小路永和奈（箏）のアウトリーチ。箏を見たことも聴いたこともない子どもたちがほとんどで、目の前で演奏に真剣に聴き入る様子が見られた。	—	78
12/13(水), 14(木), 15(金) 18(月), 21(木) 水俣第一中学校 水俣第一小学校 緑東中学校 水俣第二小学校 水東小学校 袋小学校	水俣市アウトリーチ	緒方愛子（ヴァイオリン）と小路永和奈（箏）によるアウトリーチ。ヴァイオリン体験では生徒2名が楽器に触れ、クラス全員から拍手喝采が起こった。普段、目に触れることが少ない楽器に興味を示している様子だった。	—	287
R6. 1/17(水), 19(金), 22(月) 26(金) 子ども自立支援室 袋中 久木野小 葛渡小 湯出小 水俣第二中		小路永和奈（箏）と春日香南（クラリネット）によるアウトリーチ。両者とも児童の間近で演奏を披露し、奏者の指の動きに児童たちは終始圧倒されていた。その他、音楽で感情表現ができることを伝え、児童から「演奏方法によって音色が違ってすごいと思った」等の感想が述べられた。	—	145
R6. 2/7(水), 13(火), 14(水) 20(火), 21(水) 28(水), 29(木) 飯野小学校 広安西小学校 広安小学校 津森小学校 益城中央小学校	益城町アウトリーチ	春日香南（クラリネット）、亀子政孝（コントラバス）によるアウトリーチを5校14コマ実施。楽器や奏法、表現や音楽の感じ方について分かり易く語りかける授業が展開された。	—	451
R6. 3/7(木) 平井小学校	荒尾市アウトリーチ	岡村彬子（メゾソプラノ）によるアウトリーチ。プログラムの後半では児童が実際に授業で取り組んだ合唱曲を歌い、それに対し歌唱指導をすることで、鑑賞と体験、両方を楽しむことのできるアウトリーチとなった。	—	56
劇場って楽しい！！				
6/10(土) 演劇ホール	劇場って楽しい！！	知的・発達障がい児（者）を対象とした劇場体験プログラムを実施。障がいの特性に合わせ、音響や照明の調整を配慮しながら制作を行った。コンサートでは、カルテット・スピリタスによるサクソフォン四重奏の演奏を届け、鑑賞者は音楽を楽しみながら、劇場の雰囲気慣れていく様子だった。 取材：熊日	[自由] 500	377

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
みんなで踊ろう！				
7/15(土), 16(日)	みんなで踊ろう！ ～障がいのある人も ない人も、一緒に踊 るワークショップ～	障がいの有無関係なく参加できるダンスワーク ショップを実施。国際障害者交流センタービ ッグ・アイからアドバイスを受け制作を進めて きた。事前に配慮が必要な内容を調査し、計3回 のワークショップを行った。家族参加も多くみ られ、それぞれが身体表現を楽しんでいる様子 だった。	[参加費] 500	45
普及拠点事業 2) 計				2,646

【点検・調査結果及び評価】

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、予定していた事業をすべて実施。県内各施設や関係機関と連携し、実演芸術を担う人材の育成・確保を行う事業や、質の高い実演芸術を鑑賞する機会を県民に提供する事業を各種実施しており、事業計画通りに適正な運営がなされている。

	入場者 参加者
創造拠点事業 (1)	4,233
(2)	11,215
(3)	404
創造拠点事業 計	15,852
普及拠点事業 (1)	6,779
(2)	2,646
普及拠点事業 計	9,425
総 計	25,277

3 施設の利用状況

施設名		令和5年度計	令和4年度計	前年度比
	開館日数	336	335	
コンサートホール	利用可能日数	208	270	▲62
	利用日数	169	206	▲37
	利用率	81.3	76.3	5.0
	入場者数	125,281	148,384	▲23,103
演劇ホール	利用可能日数	209	291	▲82
	利用日数	182	223	▲41
	利用率	87.1	76.6	10.5
	入場者数	89,182	98,591	▲9,409
大会議室	利用可能日数	217	303	▲86
	利用日数	113	160	▲47
	利用率	52.1	52.8	▲0.7
	入場者数	14,641	20,406	▲5,765
和室	利用可能日数	227	325	▲98
	利用日数	71	88	▲17
	利用率	31.3	27.1	4.2
	入場者数	1,549	1,857	▲308
音楽リハーサル室	利用可能日数	225	323	▲98
	利用日数	172	225	▲53
	利用率	76.4	69.7	6.7
	入場者数	12,956	16,416	▲3,460
演劇リハーサル室	利用可能日数	227	327	▲100
	利用日数	134	188	▲54
	利用率	59.0	57.5	1.5
	入場者数	9,136	14,765	▲5,629
第1練習室	利用可能日数	227	327	▲100
	利用日数	109	156	▲47
	利用率	48.0	47.7	0.3
	入場者数	8,431	10,166	▲1,735
第2練習室	利用可能日数	227	328	▲101
	利用日数	165	263	▲98
	利用率	72.7	80.2	▲7.5
	入場者数	5,479	6,527	▲1,048
第3練習室	利用可能日数	227	327	▲100
	利用日数	149	256	▲107
	利用率	65.6	78.3	▲12.7
	入場者数	5,544	8,150	▲2,606
その他の入場者数	入場者数	60,376	56,869	3,507
入場者数 合計		332,575	382,131	▲49,556
【点検・調査結果及び評価】 ・令和5年度は、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、通常どおりの施設利用が可能となったが、改修工事により、令和5年11月13日から令和6年3月15日までの約4か月間の貸出停止期間があった。そのため、入場者数は減少しているが、利用可能日数に対する利用率としては、ほとんどのホール及び会議室等で増加した。				

・公演の特性や利用者のニーズに応じた施設利用の提案を行う営業活動が、利用率向上につながっていることが分かる。

【ホール部分利用実績】

(単位：件)

利用部分	コンサートホール		演劇ホール	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
ステージのみの使用	14	12	8	11
ステージ1階（地階）客席、ホワイエのみの使用	23	20	6	11
ホワイエのみの使用	21	23	3	3
合計	58	55	17	25

4 管理運営経費の収支状況

① 収 入		
項 目	内 訳	金額（円）
指定管理委託料等	管理業務受託収入	371,376,000
基本財産運用収入	基本財産利息収入	800
特定資産運用収入	特別企画事業積立資産利息等	2,341
事業収入	創造拠点事業収入、普及拠点事業収入等	21,598,750
事業受託収入	事業受託収入	36,600,000
制作受託収入	制作受託収入	11,605,000
広告料収入及び事業協賛金収入	広告料、協賛金	1,090,000
補助金等収入	団体助成金収入	29,437,920
寄付金収入	寄付金収入	0
雑収入	受取利息収入、雑収入	12,214,333
特定資産取崩収入	特別企画事業積立資産取崩収入等	26,000,499
財務活動収入	財務活動収入	0
前期繰越収支差額		45,913,723
合 計		555,839,366

② 支 出		
項 目	内 訳	金額（円）
管理業務支出	人件費支出、維持管理、物件費	365,265,435
文化事業費支出	創造拠点事業費、普及拠点事業費	100,329,788
投資活動支出	特定資産取得費、固定資産取得費	34,271,544
財務活動支出	リース債務返済支出	4,499,882
次期繰越収支差額		51,472,717
合 計		555,839,366

【点検・調査結果及び評価】

- ・指定管理委託料については、県と(公財)熊本県立劇場との協定に基づいた(公財)県立劇場の管理運営費、文化事業費に充てており、事業運営は適正に行われている。
- ・国等の助成金や企業の協賛金等の指定管理委託料以外の収入確保に努め文化事業等に充当するなど、文化事業の充実にも努めた。

【使用料の収納実績】

(単位：円)

月	要収入額	収入済額	収入未済額	摘要
(R5) 4	14,704,660	11,365,800		
5	13,647,520	16,430,220		
6	12,964,250	13,287,660		
7	19,796,750	19,815,000		
8	16,029,860	13,943,090		
9	15,736,520	15,443,160		
10	14,660,550	16,526,420		
11	13,552,490	13,905,650		
12	8,955,980	9,307,580		
(R6) 1	7,678,450	7,431,250		
2	3,317,910	3,245,670		
3	16,856,270	15,189,280		
(4)	0	2,010,430		
年度計	157,901,210	157,901,210	0	うち使用者に返還 3 件 332,860 円

【点検・調査結果及び評価】

- ・年間を通して、使用許可及び収納事務は適正に行われ、収入未済なし。
- ・施設利用のキャンセルに伴う返還業務もあったが、適切に処理されている。

5 利用者調査結果

(主催者)

調査 実施 内容	調査年月日	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日	
	調査方法	施設利用者を対象にアンケート用紙への記入方式で実施	
	調査対象数	19 団体	
評価項目(4段階評価)			満足度(平均値)
			5 年度 4 年度
1 利用料金について(4:安い 3:やや安い 2:やや高い 1:高い)			2.68 2.62
2 利用手続きについて(4:円滑 3:おおむね円滑 2:やや煩雑 1:煩雑)			3.52 3.58
3 フロア職員の接客態度や対応について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.84 3.88
4 ステージ職員の接客態度や対応について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.89 3.85
5 舞台・音響・照明について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.89 3.85
6 また利用したいと思うか (4:是非利用したい 3:利用してもいい 2:あまり利用したくない 1:もう利用したくない)			3.94 3.97
計			3.62 3.63

利用者からの意見等	・素晴らしいスタッフの方々に支えてもらいながら、気持ちよく公演に集中できた。 ・もっと安ければ利用しやすいが、広さ、設備、空調など考えれば妥当な金額だと思う。 ・音響機材等急な備品の準備にもスムーズに対応してもらえた。 ・音の響きも素晴らしく、感動も大きいためまた利用したいと思う。
【調査結果及び評価】 ・例年同様の結果であり、利用者に寄り添った運営に努めており、利用者の満足度は概ね高いと評価できる。	

(入場者)

事業名	回答率 (%)	満足度 (%)
芸術文化祭オープニングステージ	33.4	99.3
山田和樹指揮バーミンガム市交響楽団	19.8	100.0
ホワイエサロンコンサート vol.5 清原晏 箏リサイタル	43.3	98.7
ホワイエサロンコンサート vol.6 藤原道山×SINSKE	65.5	100.0
ホワイエサロンコンサート vol.7 現代音楽への誘い	46.2	96.0
劇場って楽しい！！	40.9	96.6
エブリ・ブリリアント・シング	65.0	98.8
Noism×鼓童「鬼」	48.1	96.1

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
①催事終了後の劇場駐車場からの出庫及び劇場前市道の渋滞に関し「終演後、駐車場からなかなか出られない。」「劇場前の市道が渋滞している。」との意見が寄せられた。 ②劇場の樹木について、近隣住民より風による落ち葉の散乱、家屋の雨どいの詰まりが発生しているため、樹木管理についての意見が寄せられた。	①駐車場の混雑が予想される際は、入庫時間帯より交通誘導員を配置し対応にあたるほか、駐車場からの出庫誘導についても職員を配置し、誘導を行ったことで、長い時で40分近くかかっていた出庫時間が約半分まで短縮できている。 ②12月1日に劇場職員による一斉清掃を実施。また、劇場敷地内の落ち葉の飛散防止のため、フェンスに網を取り付けたほか、高木を約2/3程度の高さまで伐採。周辺住民にも丁寧に説明している。
【調査結果及び評価】 ・利用者や近隣住民からの意見に対して、組織内で情報共有を行うとともに、適切な対応をとることで利便性等の配慮に努めている。	

7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
特になし	

8 その他

熊本県立劇場条例に定める公の施設の設置目的等の達成度

【評価の基準】

- A：持続・更なる向上が期待できる状態
- B：ステップアップが望まれる状態
- C：見直しが必要な状態
- D：抜本的な見直しが必要な状態

【選定の特例（非公募）を適用する目的となった重点的な評価項目の達成度】

（１）人材の育成、確保

■評価項目①：実演芸術を担う人材の育成、確保

評価	理由
A	令和元年～５年度の重点事業として、県内公共ホール職員の育成に特化したプログラムを立ち上げ、人材育成事業を強化。県内の実演芸術を担う人材を育成・確保するため、「劇場人材育成プログラム」により、アートマネジメントや舞台技術分野に関する研修を実施し、公共ホール職員の知識や技術の専門性向上を図った。 過去にアートマネジメントセミナーを受講した人材を演奏家派遣アウトリーチ事業のコーディネーターとして登用したり、公演演出に応じて舞台技術者を最大５名まで配置するなど、人材の活用促進や環境整備にも取り組んでいる。 将来の実演芸術を担う青少年育成に関しては、音楽団体と連携し実施する「ジュニアオーケストラ事業」や、芸術文化祭オープニングステージにおける中高生によるジャズバンドの結成等、青少年を対象に幅広く演奏の機会を提供した。 また、伝承芸能を保存し継承するための支援では、令和４年度に特別講演を実施した「清和文楽と人気漫画を題材とする作品」の定期公演化に制作協力として携わり、伝承芸能、清和文楽の継承・発信を支援した。

（２）関係機関等との連携

■評価項目②：実演芸術の振興のための県内各施設や関係機関との連携

評価	理由
A	県内全域における芸術鑑賞機会の促進及び実演芸術の振興を図るため、県内公共ホールとのネットワークを活用し、県内各地で音楽や演劇等の公演を実施。 県立劇場が提案する公演だけでなく、市町村が希望する演目や出演者などを聞き取り、オーダーメイド型企画を展開したことで、市町村の開催希望が増加し、県内広域における芸術鑑賞機会の創出につながった。 熊本県公立文化施設に対し、業務管理・自主文化事業・舞台技術等の研修会を実施するとともに、各分野の専門家を講師に招く研修会を９回実施した。 また、県内の会館に対し、鳥の子屏風や道具幕等の特殊備品の貸与も積極的に

	行っている。 豊富な知識やネットワークを活かし、県内文化団体、教育委員会及び学校などの関係機関と連携した催事等の企画運営し、本県の実演芸術の振興に取り組んだ。
--	---

【運営方針に定める項目の達成度】

(1) 質の高い事業の実施

■評価項目①：質の高い実演芸術に触れる機会の提供

評価	理由
A	運営方針や県立劇場へのニーズに基づき、前年度10月に年間公演プログラム案を策定。個々の事業については目標や目的、広報計画等を盛り込んだ実施計画書を作成し、事業を推進した。 令和5年度は、新型コロナウイルス5類移行により計画していた全ての事業が実施され、海外オーケストラを招聘したクラシックコンサート、日本を代表するジャズミュージシャンによるジャズ公演、尺八や箏の伝統芸能など、県内唯一の専用ホールを生かした公演を企画し、県民が良質な音楽に触れる機会を提供した。

■評価項目②：特色ある自主企画事業の実施

評価	理由
A	熊本県芸術文化祭オープニングステージにて、エリック・ミヤシロをはじめとした日本を代表するジャズミュージシャンを招き、公募で集まった中高生86名と「JAZZ ドリームバンド」を結成。「エリック・ミヤシロ」に直接奏法クリニックや合奏指導を受ける合同練習も行い、制作・上演した。 パッケージ公演では、コンサートホールの響きを活かす公演として「山田和樹指揮バーミンガム市交響楽団」を実施。熊本とゆかりの深い指揮者を招き、独自性かつ創造性・企画性の高い公演として、観客満足度は100%を記録した。

(2) 普及啓発

■評価項目③：児童、生徒、学生等に対する質の高い実演芸術に触れる機会の提供

評価	理由
A	(公財) 県立劇場主催の文化事業において、25歳以下の学生料金の設定や年齢による入場制限がある公演では託児サービスを提供している。 親子向け鑑賞プログラムや子ども向けのワークショップ開催などの積極的な取組や、教育委員会と連携して学校へ広報を行い、児童生徒等が実演芸術に触れる機会の創出に努めている。 また、児童養護施設の子ども及び里親家族を対象に主催公演に招待する「ぴっころシート」事業も実施し、3公演に119人を招待。質の高い実演芸術に触れる機会を提供した。

■評価項目④：実演芸術の理解を一層深めるための付随事業の実施

評価	理由
A	(公財) 県立劇場主催公演の際は、アフタートーク等の付随事業の実施等、公演

	についての鑑賞者の理解が深まるよう努めている。令和5年度は、作品の理解を深めるため演出家補佐の事前ワークショップの実施や、「Noism×鼓童『鬼』」公演では、チケット購入者を対象にした和太鼓講座を実施。 また、県立図書館の協力を得て、公演をより楽しむための図書リストを配布。ハワイエに当該図書の展示コーナーも設け、興味を引くような様々な工夫が見られる。
--	--

■評価項目⑤：アウトリーチ事業の実施

評価	理由
A	小中学生を対象とした「演奏家派遣アウトリーチ事業」は、12市町村で計81コマ（前年：10市町で計62コマ）と過去最多を実施。実施にあたっては学校、市町教育委員会、ホールと連携して進めた。また、中長期的にアウトリーチ事業を増強しており、アウトリーチ事業を担う外部コーディネーターの確保・育成やスキームの見直しを実施している。 このほか知的・発達障がいがある人たちで組織する「オハイエ音楽隊」とその指導者を対象に、熊本在住の作曲家によるワークショップも実施した。

■評価項目⑥：国内外で活躍する熊本県出身芸術家等との連携

評価	理由
A	「ハワイエサロンコンサート」シリーズ、「演奏家派遣アウトリーチ事業」、「行くぜ！劇場探検隊」、「あかちゃんとダンス！」、「県劇盆踊り」等の事業において、県在住・出身アーティストに出演を委託。公演やアウトリーチのほか、本県の実演芸術の振興全般にわたって、国内外で活躍する熊本県出身芸術家等との連携に積極的に努めている。 また、「登録アーティスト募集・育成事業」では、3人の県出身アーティストを採用し、アウトリーチ事業を担う人材として育成している。

■評価項目⑦：日常的に人々が集い自由に文化芸術に触れることができるための工夫

評価	理由
A	平成音楽大学や熊本デザイン専門学校、熊本大学教育学部と連携協定を結び、文化芸術に関する人材育成に取り組んでいる。 ほかにも、学校や近隣施設を受け入れる「バックステージツアー事業」や熊本大学教育学部附属中学校の芸術鑑賞会での演奏家を選定・派遣するなど、学校や地域のニーズに合った公演を企画、コーディネートし、地域や教育機関等との連携により、日常的に人々が集い自由に文化芸術に触れることができるための事業を積極的に行っている。 併せて、事務所の改修工事やPR動画の放映等、来館者の利便性、快適性を高める工夫も行っている。

（３）経営の安定化

■評価項目⑧：協賛企業の確保等、多様な財源の確保

評価	理由
A	文化事業の財源に関しては、外部資金を戦略的に捉え、積極的な獲得・活用に努め多様な財源を確保している。 文化庁の「地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業」のほか、「地域の文化・芸術活動助成事業」、全国公立文化施設協会の「アートキャラバン助成事業」等で約

	29,437千円の助成金を獲得。文化事業の資金に充て、県民に対し質の高い舞台芸術に触れる機会を提供した。 また、法人備品を貸出しており、営業活動の成果も見られ、令和5年度は10,295千円（前年度比109%）と雑収入としては過去最高額を得ている。
--	---

■評価項目⑨：公演実施者及び鑑賞者の拡大に向けた取組みの実施

評価	理由
A	チケット販売については、広報計画を立て公演の特性に鑑みた営業活動を行い、販売拡大に取り組んでいる。また、部分利用を活用し公演規模や利用者のニーズに合わせた施設の使い方を提案し、利用率の向上に取り組んでいる。 SNSを活用し劇場活動の発信や季刊誌を発行し、劇場の文化事業を広く県民に紹介し、初心者と呼び込むとともに、鑑賞者の拡大に向けた取組が行われている。 令和元年度から主催事業のチケット先行予約販売を実施（令和6年3月末時点14,980人登録、令和5年3月末比3,320人増）。インターネットからのチケット販売システムにより、鑑賞者の利便性の拡大を図った。 利用者アンケートによる「利用料金が高く、気軽にホールを利用できる料金プランが欲しい」との要望が多かったことから、令和3年度から可能となったホールの部分利用を、広報誌や劇場ホームページによる利用促進を図ったところ、施行直後から利用者の関心も高く、令和5年度のホール部分利用は75件の実績をあげた。

（４）安全管理

■評価項目⑩：災害時等における事業継続計画の策定、避難訓練等の実施

評価	理由
A	施設の特性を踏まえて策定された「熊本県立劇場 危機管理マニュアル」の充実を図り、定期的な訓練によりスタッフへの徹底を図るとともに、訓練等により得られた知見に基づき、マニュアル内容の点検や見直しを随時行っている。 定期的な訓練としては、心肺蘇生・AED基礎講習や消防訓練・総合訓練を実施。危機管理者においては、「熊本市防火、防災管理に関する甲種防火管理講習」を受講し、防火管理に関する知識を養成しており、令和6年3月末時点で11人が資格を取得している。

■評価項目⑪：災害等の非常時における避難者への対応

評価	理由
A	劇場来館時に災害等の非常事態に遭遇し、帰宅が困難になった者や緊急に避難が必要となった者に対し、帰宅困難者等の受け入れを行い、情報提供の支援を行うことを危機管理マニュアルに整備している。 また、令和2年9月の台風10号の際、人吉市から広域避難先として避難者を受け入れた経験から、緊急時の支援職員配置や受入体制等、自治体からの要請があれば対応は可能であり、危機管理マニュアルと併せて職員に周知している。

(5) 適切な評価基準の設置と事業評価の実施、翌年度計画への確実な反映

■評価項目⑫：自己評価の実施

評価	理由
A	文化事業ごとに PDCA サイクルに則った事業評価シートを作成し、当該事業に課せられた評価項目（全 13 項目から抽出）の達成状況を評価。さらに自主性、芸術性、広報・集客、採算性等の観点から事業全体を評価したうえで、改善策の検討と今後の取組方針（継続・拡大・縮小・廃止等）をもとに、課題を明確にして次年度以降の企画に反映している。 また、県内の有識者 6 名で構成する文化事業評価委員会を設置し、評価結果を次年度事業に反映するとともに、施設利用者や入場者へのアンケートを行い、ホール利用者の満足度と改善要望事項、公演内容やスタッフ対応満足度等を把握し、評価の客観性を高めるよう取り組んでいる。

■評価項目⑬：県の事業評価結果の事業計画への反映

評価	理由
A	前年の県の事業評価結果で改善が必要とされた事項はなく、全体的に更なるレベルアップのための取り組みを講じるよう努めている。